

## 支え合って、みんなで伸びていく学校に！

校長 松本 雅史

おはようございます。

いよいよ3月に入りました。今年は、さくらの開花が例年よりも早くなりそうだとの予想が発表されました。ジャングルジム近くのこぶしの花は満開ですね。春をいたるところで感じられるようになってきました。

さて、誰もが得意なことや不得意なことがあると思います。足が速い子もいれば、走ることに苦手意識を持っている子もいるでしょう。字を書くことが得意で好きな子もいれば、苦手な子もいることと思います。忘れっぽい人もいるし、覚えることが苦手な子、みんなと一緒に活動することが苦手な子もいます。やればできるのに、やろうという気持ちを出すことができなくて、さぼっていると思われる人もいるでしょう。小さいことが妙に気になってしまって、すぐイライラしてしまう人もいるでしょう。いろいろな人がいて、お互いのよさや苦手なことを分かり合って、ゆるし合って、支え合って、みんなで伸びていくのが学校です。

それなのに、人の苦手なことや違っていることに対して、責めたり、差別したり、馬鹿にしてしまうようなことが、もしあるとするならば、それは本当に悲しいことです。人を責めるとき、差別したり、馬鹿にしたりするとき、そういうことをする人は、自分は、相手より優れた人間だと勘違いしていることが多いです。しかし、そうでしょうか。責められたり、差別されたり、馬鹿にされたりして、心に目に見えない傷を負って、学校に来ることさえ辛くなってしまうということがもしあったとしたら、そんなことが許されていいはずはありません。そういうことを平気でしてしまうような人こそ、心がさびしく冷たい人です。人を責める心、差別する心、馬鹿にする心は、だれもが心の奥に持っています。そういう心と戦うのは自分自身です。

五小のみんなが、お互いを大切に思い合って、支え合って、あたたかい学校をつくってほしいと思います。辛いことがあったら、いつでも校長室にきてください。辛いことをしてしまったら、どうしてそういう気持ちになってしまったのかお話を聞きますから、遠慮なく校長室にきてください。誰もが一人残らず大切な五小の子です。これで、今朝のお話は終わります。